

体験的学習活動等休業日における図書館イベントの開催結果について

家庭や地域における体験的な学習活動等の充実を図るために令和4年度から導入された体験的学習活動等休業日において、当該制度の趣旨に沿った図書館イベントを実施しましたので、その結果を報告します。

1 日時等

- (1) 日 時 令和4年5月2日(月) 午前10時から正午まで
- (2) 会 場 鳥取県立図書館 大研修室、閲覧室、地下書庫ほか
- (3) 参加人数 8名(高校生6名、中学生1名、小学生1名)
※対象は高校生だが、制度の趣旨から6歳以上の兄弟姉妹も一緒に参加可能とした。

2 内容

(1) 県立図書館の概要説明

- ・県内ネットワークを利用した即時配送サービスや県内どこに住んでいても等しく県立図書館の図書を利用できるサービスの提供を図っていること等について説明した。
- ・市町村立図書館の図書と併せて全県に提供することを想定して、人口最小県の県立図書館が毎年1億円をかけて図書を購入している事を説明し、もっと県立図書館を使ってもらおうよう促した。

(2) あなたならどう調べる？ふるさと鳥取クイズ！

- ・鳥取県に関するクイズを出題し、館内の図書、郷土資料、データベース等で調べて回答するという学習の形態で実施した。
- ・答えだけでなく、調べた図書の題名なども併せて披露してもらい、情報を得る方法についても考える機会とした。

(3) 館内ツアー

- ・閲覧室各種コーナーの特色、図書の展示に係る工夫、普段目にする事のない地下書庫の蔵書の様子等を見学してもらった。

参加者の声

【参加した感想】

- ・どこに住んでいてもみんなが平等に知識を得られ、読書を楽しめるということを大事にしていることが良くわかった。(同種意見複数あり)
- ・知らないことについて本を使って調べる体験ができて良かった。
- ・本を使ってクイズを解くのが難しかった。学校でも普段からもっと本を使って、早く調べられるようになりたい。
- ・地下に入ったことがなかったので、入ることができて良かった。(複数あり)

【体験的学習活動等休業日に図書館に望むこと】

- ・司書体験をしたい。(複数あり)
- ・作業見学をしたい。
- ・他の参加者と共に楽しめる活動があればうれしい。

所感

- 当初、県立図書館を利用していると答える参加者は少なかったが、学校図書館を通じて利用していること、利用できることに気づいた様子であり、今後の調べ学習等で県立図書館の利用を考える意識付けができた。
- ビジネス、医療・健康情報等の各種サービスの説明を受け、実際に館内の120万冊以上の蔵書を目の当たりにしたことで、「自分も活用したい」「たくさん利用したい」とアンケートに答える者がいたことなどから、人生の様々な場面で県立図書館を活用してもらおうきっかけにもなったと感じた。

【実施の様子】



(取材：山陰放送1件)